

令和6年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年5月13日

上場会社名 新日本製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4931 URL <https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤 孝洋
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役COO (氏名) 福原 光佳 (TEL) 092(720)5800
 四半期報告書提出予定日 令和6年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年9月期第2四半期の連結業績(令和5年10月1日~令和6年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年9月期第2四半期	19,656	7.7	2,076	41.5	2,083	42.0	1,402	43.1
5年9月期第2四半期	18,250	1.4	1,467	△12.5	1,467	△13.5	980	△14.0

(注) 包括利益 6年9月期第2四半期 1,396百万円(42.5%) 5年9月期第2四半期 979百万円(△13.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年9月期第2四半期	65.08	64.86
5年9月期第2四半期	45.61	45.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年9月期第2四半期	25,672	20,368	79.0
5年9月期	25,501	19,661	76.5

(参考) 自己資本 6年9月期第2四半期 20,272百万円 5年9月期 19,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年9月期	—	0.00	—	33.00	33.00
6年9月期	—	0.00	—	—	—
6年9月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年9月期の連結業績予想(令和5年10月1日~令和6年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.2	4,000	6.5	3,980	7.0	2,580	7.8	120.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

6年9月期2Q	21,855,200株	5年9月期	21,855,200株
6年9月期2Q	292,473株	5年9月期	343,110株
6年9月期2Q	21,545,263株	5年9月期2Q	21,490,705株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社グループは、令和6年5月13日(月)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンライン配信する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国をとりまく環境は、経済活動及び社会活動の正常化とインバウンド需要の回復がみられましたが、世界的な原材料・エネルギー価格の高騰や為替動向、賃金上昇を上回る物価上昇の影響等もあり、依然として不確実性を伴う状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは『美と健康の「新しい」で、笑顔あふれる毎日をつくる。』というパーパスの実現に向けて、中期経営計画「VISION2025」に基づき重点課題に取り組みました。

通信販売において、化粧品の「PERFECT ONE」では、海外販売等の影響を除く国内売上高(※1)が前年を上回り着地しましたが、ブランド売上高は減収となりました。LTVを重視した広告投資戦略と「落とす・満たす・魅せる」の3STEPスキンケア提案を軸としたCRM戦略により、競合の多いオールインワン市場にて、パーフェクトワンオールインワン美容液ジェルシリーズが国内売上8年連続シェアNo.1(※2)を獲得しました。20代を中心に若年層の開拓が進む「PERFECT ONE FOCUS(パーフェクトワンフォーカス)」では、主力商品の好調な販売拡大が継続したことに加え、11月より限定販売した「パーフェクトワンフォーカス スムースクレンジングバーム ディープブラック」が売上拡大を後押しし、ブランドの成長が加速しました。また、ECモールにおける大型施策や新CM、キャンペーンの実施により増収で着地しました。ヘルスケアでは、「Fun and Health」の主力商品である機能性表示食品「Wの健康青汁」の好調な販売が継続し、Wellness FoodのEC販売が着実に成長しました。

卸販売においては、「PERFECT ONE」のドラッグストア展開店舗数の拡大や、Wellness Foodの主力商品であるMCTオイルやアマニ油の好調な販売が売上高の拡大に貢献しました。

海外販売においては、東アジア・ASEANは投資効率を重視した事業戦略の見直しにより大きく減収となりました。昨年度に子会社を設立した米国市場においては、「PERFECT ONE」「PERFECT ONE FOCUS」の本格始動に向け着実に準備を進め、一部商品とチャネルで展開を開始しました。

(※1) PERFECT ONEの海外販売と直営店舗販売の売上高を除く

(※2) パーフェクトワンフォーカスシリーズ含む：富士経済「化粧品マーケティング要覧2017～2024」
(モイスチャー部門およびオールインワン部門/メーカー、ブランドシェア2016～2023年実績)

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,656百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は2,076百万円(前年同期比41.5%増)、経常利益は2,083百万円(前年同期比42.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,402百万円(前年同期比43.1%増)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、卸販売及び海外販売であります。卸販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、170百万円増加して25,672百万円となりました。これは主に、投資その他の資産(繰延税金資産等)が97百万円減少した一方で、現金及び預金が129百万円、売掛金が146百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、536百万円減少して5,304百万円となりました。これは主に、買掛金が447百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が99百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、706百万円増加して20,368百万円となりました。これは主に、利益剰余金が692百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年9月期の連結業績予想につきましては、令和5年11月7日付「令和5年9月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想数値から変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が当該資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,518	15,648
売掛金	3,171	3,317
棚卸資産	2,092	2,203
その他	512	445
貸倒引当金	△39	△39
流動資産合計	21,254	21,574
固定資産		
有形固定資産	1,983	1,945
無形固定資産		
のれん	818	765
その他	500	537
無形固定資産合計	1,318	1,303
投資その他の資産	945	848
固定資産合計	4,247	4,097
資産合計	25,501	25,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	946	498
1年内返済予定の長期借入金	192	182
未払金	2,423	2,501
未払法人税等	754	697
賞与引当金	197	171
その他	569	579
流動負債合計	5,083	4,631
固定負債		
長期借入金	254	165
退職給付に係る負債	182	187
その他	320	319
固定負債合計	757	673
負債合計	5,840	5,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158	4,158
資本剰余金	4,104	4,089
利益剰余金	11,885	12,578
自己株式	△647	△552
株主資本合計	19,501	20,274
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△5
退職給付に係る調整累計額	4	3
その他の包括利益累計額合計	4	△1
新株予約権	155	95
純資産合計	19,661	20,368
負債純資産合計	25,501	25,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)
売上高	18,250	19,656
売上原価	3,418	4,043
売上総利益	14,832	15,612
販売費及び一般管理費	13,365	13,536
営業利益	1,467	2,076
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	0	0
受取賃貸料	5	6
固定資産売却益	6	—
その他	4	7
営業外収益合計	17	18
営業外費用		
支払利息	2	0
為替差損	1	—
投資有価証券評価損	12	5
その他	0	5
営業外費用合計	17	11
経常利益	1,467	2,083
特別利益		
投資損失引当金戻入額	0	6
特別利益合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	1,468	2,090
法人税、住民税及び事業税	429	628
法人税等調整額	58	59
法人税等合計	488	688
四半期純利益	980	1,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	980	1,402

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和6年3月31日)
四半期純利益	980	1,402
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△5
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△5
四半期包括利益	979	1,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	979	1,396

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、卸販売及び海外販売であります。卸販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。